



# OI戦略機構が取り持つ産学連携

## 製薬企業6社の企業公募説明会 @ZOOM ; 2021年6月2日(済)、7月8日

□ 創薬のためのMOA探索、SEEDS、バイオマーカー研究など、企業がアカデミアとの共創を求める分野・研究テーマを、企業からご紹介いただきます。

- 応募や契約等OI戦略機構でサポートいたします。
- 参加希望者は、**下記のサイトで事前にお申込みください。**(当日参加も可能です)  
申し込み先: <https://oi.tohoku.ac.jp/application/?event=md6>



対象者 : **学内限定**、教職員・研究者

研究資金や技術支援を得る機会として活用下さい

2021.6.2(水)

EA pharma、大日本住友製薬、持田製薬

開催済み

2021.7.8(木)

会議URLは会議までにご連絡いたします。

17:30~1時間

旭化成ファーマ、第一三共、武田薬品



17:30 開会、主催者から

17:35 企業公募の説明、質疑 各企業から

募集分野 (主催者抜粋。詳細情報はlink先参照)		Link*	期間
EA pharma	IBD、NASH、膵炎、IBS、NSAID起因性小腸粘膜傷害、他疾患の治療による消化管副作用、およびがんを除く治療満足度が満たされていない消化器系疾患	→PDF →HP	5/6-7/30
大日本住友製薬	アンチセンス核酸医薬の創薬標的遺伝子および当該遺伝子評価が可能な病態モデルの構築/小脳機能を評価するためのバイオマーカー/非侵襲的なニューロモジュレーションまたはバイオフィードバックなどにより生理現象を制御する医療応用が可能な技術	→PDF →HP	5/10-6/30
持田製薬	産婦人科領域 (子宮内膜症、子宮筋腫、妊娠高血圧腎症)、消化器領域 (炎症性腸疾患、NSAIDs起因性腸炎)、両領域ともその他のアンメットニーズの高い疾患。難病・希少疾患および難治性疾患 (核酸医薬の創薬標的も含む)	→PDF →HP	6/1-7/31
旭化成ファーマ	FY20参考情報: 神経変性疾患、自己免疫疾患、救急、骨・軟骨、筋疾患	参考 FY20HP	2022/1月頃
第一三共	・オンコロジー、神経変性疾患・精神疾患、希少疾患、免疫関連疾患、眼疾患、心疾患、感染症 ・創薬技術(新規創薬技術、ターゲティング、抗体治療、遺伝子治療、細胞治療、安全性、薬物動態)。第一三共のモデル技術活用 (CAR-T、中分子、核酸等)	→PDF →HP	7/5-8/30
武田薬品	全37課題; ニューロサイエンス、オンコロジー、がん免疫、プラットフォーム技術 (評価系、分析技術、次世代オルガノイド、遺伝性筋疾患、心筋症、創薬化学・薬物・製剤技術) DMPK、安全性	→PDF →HP	6/1-7/29

\* 公募情報は学内サイト「競争的資金等公募情報」にも掲載しています。



主催 : 東北大学オープンイノベーション戦略機構

<https://oi.tohoku.ac.jp/>

担当/問い合わせ先 : 大富 Email: [oi-event@grp.tohoku.ac.jp](mailto:oi-event@grp.tohoku.ac.jp)